

令和 8 年 10 月 2 日

主催：東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所

共催：一般財団法人沿岸技術研究センター

「令和 8 年度 民間技術発表会」を開催します

仙台港湾空港技術調査事務所では、民間で開発された新技術を東北管内の港湾・海岸・空港整備事業に有効活用（マッチング）することを目的とし、整備局職員と民間事業者の方との意見交換の場として「民間技術発表会（PAT※）」を下記日程で開催します。

※Presentation Assembly on Technological developments

当発表会は平成 16 年度から開催しており、前回まで 213 の技術が発表されております。

今年は、仙台港湾空港技術調査事務所開所から 25 周年を迎えたことから、応募いただいた全ての皆様に発表いただけるよう、10 月 23 日（金）と 12 月 4 日（金）の 2 回開催します。

記**■第 1 回**

○日 時：令和 8 年 10 月 23 日（金）13:10～17:00

○場 所：国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 AB 会議室
（仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台合同庁舎 B 棟 9 階）

- 議 題：(1) エポコラム Taf 工法
(2) 水中・水陸両用バックホウの施工と ICT 技術の開発について
(3) 気象・海象総合ポータルサイト羅針盤 PLUS
(4) アマモ場造成・モニタリングによるブルーカーボン創出支援技術
(5) CO2 吸収材を用いた低炭素型コンクリート
(6) 鋼管杭による海岸保全施設の嵩上げ・補強技術
(7) 防波堤・護岸築造プレキャスト型枠工法
(8) 船用市場における低・脱炭素化に向けた代替燃料ソリューション

■第 2 回

○日 時：令和 8 年 12 月 4 日（金）13:10～17:00

○場 所：国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 AB 会議室
（仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台合同庁舎 B 棟 9 階）

- 議 題：(1) スーパー段割工法：段割セリ矢
(2) RAS コラム工法
(3) LiDAR SLAM 技術を用いた出来形管理
(4) サブプレオフレームによるケーソン転倒防止効果
(5) 3 次元浚渫土量自動算定システム
(6) WIT 3rd EYE
(7) 港湾機能早期復旧最適化技術
(8) ドラゴンウォールを用いた仮設足場レスハーフプレキャスト嵩上げ工法

■その他

○発表要領：発表時間は、質疑応答を含め1議題あたり25分程度です。

○取材について：

- ・「第1回」当日の取材を希望される方は、別添の「取材申込書」に必要事項をご記入のうえ、令和8年10月21日（水）17時までにお申込ください。
- ・「第2回」の取材申込の案内については、別途、お知らせします。
- ・取材の際は、1階総合受付にて入場手続きをし、エレベータをご利用いただき、9階で降車後、会場までお越しください。

※その他詳細につきましては、下記URLよりホームページをご確認下さい。

仙台港湾空港技術調査事務所HP：<https://www.pa.thr.mlit.go.jp/sendagicho/>

〔発表記者会〕宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会、
日本海事新聞社、港湾新聞社、港湾空港タイムス、
マリタイムデーリーニュース、海事プレス

【問合せ先】

国土交通省 東北地方整備局 仙台港湾空港技術調査事務所

副所長：住吉 康男

技術開発課長：引屋敷 英人

TEL：022-791-2113

E-Mail：pa.thr-i-gicho@ki.mlit.go.jp

別 添

「令和 8 年度 第 1 回 民間技術発表会」取材申込書

＜申込先＞

仙台港湾空港技術調査事務所 技術開発課 宛

申込メールアドレス pa.thr-i-gicho@ki.mlit.go.jp

お名前	
ご所属（会社名）	
ご連絡先（TEL）	
ご連絡先（メールアドレス）	
備考	

（注意事項）

- ・発表会は会場・Webで行います。
- ・会場の報道関係者席には限りがあるため、早めに募集を締切ることがございます。予めご了承ください。
- ・令和 8 年 10 月 21 日（水）17 時までにメールにてお申し込み下さい。
- ・申込受領後、事務局より確認のメールを送付いたします。